

# SARS-CoV-2による感染症(coronavirus disease 2019: COVID-19)

・ SARS-CoV-2による感染症をCOVID-19と呼ぶ。せき、くしゃみ、会話等のときに排出される飛沫やエアロゾルの吸入、接触感染等が感染経路と考えられており、発熱、呼吸器症状、倦怠感、頭痛、消化器症状、鼻汁、味覚異常、嗅覚異常等の症状を発症する(新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針 令和4年9月8日変更)。

・ COVID-19では、発症後数日はウイルス増殖が、そして発症後7日前後からは宿主免疫による炎症反応が主病態であると考えられている。したがって、発症早期には抗ウイルス薬又は中和抗体薬の投与が重要となる(COVID-19に対する薬物治療の考え方 第14.2版)(図1)。

・モルヌピラビル(ラゲブリオ)はSARS-CoV-2による感染症に適応を有する抗ウイルス薬であり、臨床試験における主な投与経験を踏まえ、SARS-CoV-2による感染症の重症化リスク因子を有する等、本剤の投与が必要と考えられる患者に投与することとされている。

図1: 重症度別マネジメントのまとめ(新型コロナウイルス感染症[COVID-19] 診療の手引き 第8.1版より作成)

	軽症	中等症I	中等症II	重症
酸素飽和度	SpO <sub>2</sub> ≥ 96%	96% > SpO <sub>2</sub> > 93%	SpO <sub>2</sub> ≤ 93%	
臨床状態	呼吸器症状なし or 咳のみで呼吸困難なし いずれの場合であっても肺炎 所見を認めない	呼吸困難、肺炎所見	酸素投与が必要	集中治療室に入室 or 人工呼吸器が必要
	<b>呼吸療法</b>		酸素療法*1	挿管人工呼吸/体外式膜型人工肺
*1: 高流量鼻カニューラ療法を含む 必要時、フィルター付持続陽圧呼吸療法、非侵襲的陽圧換気療法			腹臥位療法を含む積極的な体位変換	
	<b>抗ウイルス薬</b>			
*2: 軽症患者への投与は重症化リスク因子のある患者が対象		レムデシビル*2		
		モルヌピラビル*3		
		ニルマトレルビル/リトナビル*3		
*3: 重症化リスク因子のある患者が対象	<b>中和抗体薬*3*4</b>			
	ソトロマブ			
	カシリマブ/イムデビマブ			
*4: 抗ウイルス薬が使用できない場合に本剤を検討(オミクロン株に対する効果減弱のおそれ)	<b>免疫抑制・調整薬</b>		ステロイド(デキサメタゾンなど)	
			バリシチニブ	
			トシリズマブ*5	
*5: ステロイドと併用する	<b>抗凝固薬</b>			ヘパリン